

# 風水害への備え

土浦市消防団

風水害は、主に大雨や台風によって引き起こされる災害で、次のような種類があります。市内でも過去に梅雨前線や台風による浸水被害や竜巻による被害が発生しています。降水量が1時間に20mm以上、または総雨量が100mm以上になった場合は、十分に注意しましょう。

## 洪水災害

大雨などを原因として、河川や下水道などの水量が著しく増加することにより引き起こされる災害です。市街地では雨水の排水機能が追い付かなくなり、家屋への浸水など大きな被害をもたらします。

## 土砂災害

大雨や地震などを原因として山や崖などが崩れ、土砂が押し寄せてくる現象です。土浦市で想定される土砂災害には「急傾斜地の崩壊」と「土石流」があります。

### ◆急傾斜地の崩壊

雨や地震で斜面が崩れ落ちる現象です。突然発生するので、逃げ遅れによる死傷者が出やすい災害です。

### ◆土石流

大雨などにより、水と一緒に山の土砂などが下流へ流れる現象です。急激な流れにより家屋や道路が破壊されることがあります。

写真：5月16日(土) 水防訓練



## 土浦市の備え

近年、各地で記録的大雨による水害が頻発し、災害による被害が深刻化しています。土浦市でも、2023年6月2日には市内で観測史上1位となる24時間雨量261.5mmを記録し、道路冠水62箇所、床上浸水7棟、床下浸水14棟、土砂崩れ12箇所、停電1590軒の被害が発生しました。

風水害への対応力の向上を目指して、市では日頃の訓練などにより、災害への備えを進めています。



職員による土のう作成

## 水防訓練 5月16日(土)

水害時に応急対策の中核を担う消防職員・消防団員・市職員が、「水防マット工法」などの実践的な水防工法の訓練を行いました。

半円に積んだ土嚢で漏水を止める「月の輪工法」

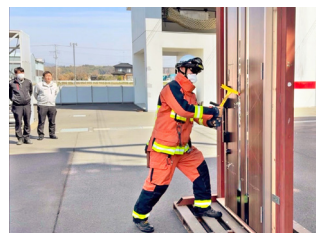


堤防が水で削りとられるのを防ぐ「水防マット工法」



## 災害対策訓練

消防では、重いものを取り除いてその下に挟まれた人を救助する、災害で建物に取り残された人を救助するなど、さまざまな想定で訓練を行っています。



## 消防車の設備点検

風水害時などのあらゆる人命救助にあたる特別救助隊では、数多くの特別な救助資器材を備えています。毎日、隊員が車両・資器材の点検を行っています。

人命救助の最前線！  
消防特別救助隊の資器材を  
紹介します。



### ◆油圧救助器具

油圧で駆動する強力なカッターで、ケーブルや車の部品などを切断することができます。



### ◆マット型空気ジャッキ

空気ポンペの空気を送り込むことでマットが膨らみ、重いものを持ち上げて挟まれた人を救助することができます。

空気で膨らませると...  
24tを持ち上げます

# 家庭でも風水害に備えよう!



風水害から自分の身を守るには、「正しい知識」、「準備」、「情報収集」が大切です。自宅やよく訪れる場所周辺の災害リスクを再確認し、日頃から避難方法などを考えておきましょう。

## 新しくなった防災気象情報をチェックしよう

5月29日から、気象庁から発表される防災気象情報が整理され、警報・注意報の情報名に「レベル」が付け加えられました。このレベルによって、取るべき行動がわかりやすく示されるようになりました。

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	とるべき行動
5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	命の危険、直ちに安全確保
4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難
3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	避難行動(避難場所、ルート、タイミング)を確認
1	早期注意情報			災害への心構え

### 避難するタイミング

**レベル5** 命の危険が迫っています。直ちに安全確保を!

**レベル4** 全員が避難

**レベル3** 高齢者など、避難に時間がかかる人は避難

避難するのはレベル3またはレベル4と覚えておこう!



## 取るべき行動を決めておこう

各種防災情報は  
こちら▶



日頃から自宅周辺や生活圏内の危険箇所・避難場所などを確認しましょう。災害時に自分が取るべき行動を整理しておくことで、いざというときに役立ちます。

### ハザードマップを活用しよう

ハザードマップには、被害想定エリアや指定避難場所一覧などに加えて、災害の備えに役立つ情報を掲載しています。



洪水  
ハザードマップ



内水  
ハザードマップ



土砂災害  
ハザードマップ

### 情報を収集しよう

災害時には、テレビやインターネットなどで自主的に情報を入手することが大切です。

事前にウェブサイトをブックマークする、防災アプリをダウンロードしておくなど、いざというときに備えましょう。詳しくは、ホームページをご覧ください。

災害時に役立つサービス…キキクル、茨城県防災・危機管理ポータルサイト、市公式LINE、防災行政無線、Yahoo!防災速報アプリ、避難所情報[VACAN Maps] など

### マイ・タイムラインを作ろう

「マイ・タイムライン」とは、風水害に備え、警戒レベルごとに取るべき行動や避難経路をあらかじめ整理する個人の避難行動計画表のことです。

災害時に逃げ遅れないように、各家庭で「我が家のタイムライン」をぜひ作成しておきましょう。

#### 【作成例】台風のとき

警戒レベル	気象状況	行動計画
1	大雨の数日～1日前	天気予報の確認 家族の予定を確認
2	大雨の半日前	非常持ち出し品の準備
3相当	大雨の数時間前	避難先、移動手段の確認 避難しやすい服に着替える
4相当		〇〇小学校へ避難
5相当	数十年に一度の大雨	命の危険、直ちに安全確保